

○ 社会環境分野

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案 (· · 第回総会 ; 市)		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ()		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 分野 <input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設 </div>
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国 担当省庁 厚生労働省 <input checked="" type="checkbox"/> 県 担当部局 健康福祉部 <input type="checkbox"/> その他 名称		
件名	11 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえた公的医療機関に対する国・県補助金の拡充について		
提案市	松本市、上田市		
提案要旨	公的医療機関では、地域の医療課題に率先して取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症への対応又はその影響により、現在の国や県の補助金では経営が大変厳しい状況にあり、更なる支援の拡充を要望する。		
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> 松本市立病院では、第二種感染症指定医療機関として当初から新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ、松本医療圏の医療崩壊を防ぐために、医師・看護師等スタッフが一丸となって対応しており、平常時には一般病床として活用している感染症病床6床を最大35床まで増やして確保してきた（5月21日以降は19床を確保中）。 その結果、新型コロナウイルス対応の感染症管理区域内に確保した病床において空床が発生し、一般の診療や入院の制限をせざるを得ず、病院経営に大きな影響を与えている。既に国・県において、損失補てんに係る補助事業が設けられているが、不十分であるため、補てん単価の引き上げなど補助金制度の拡充が必要である。 上田市が設置者となり、定住自立圏内の市町村と共同で運営している上田市内科・小児科初期救急センターでは、地元医師会、信州大学医学部等の先生方に診察をお願いし、地域における夜間の内科及び小児科の初期救急医療体制を維持しているが、現在の県の補助金は、小児科に対して「小児初期救急医療体制整備事業補助金」があるのみで、内科には全くない。さらに、新型コロナウイルスの影響で、感染予防対策のための施設改修やマスク、防護服等の購入経費が増加する一方、診療件数は大幅に減少しており、市町村の財政負担は更に大きくなる見込みである。 こうした状況を踏まえ、小児科に対する補助金の増額、内科初期救急医療に対する補助金の創設、並びに新型コロナウイルスの影響に対する臨時の財政支援が必要である。 		

現況及び課題等

○松本市立病院について
補てん不足の要因

(単位：円/人・日)

項目		金額	備考
入院単価	一般患者受入時の収益	47,670	感染症病床のある病棟の単価 (R1実績)
基準額	補てんされる額	16,000	補てん率33.6%
補てん不足額	補てんが必要な額	31,670	補てん不足66.4%

患者数の状況 (前年比)

(単位：人)

	H31.2～4	R2.2～4	増減	増減率
入院患者数	16,021	14,511	△1,510	△9.4%
外来患者数	22,323	18,878	△3,445	△15.4%

○上田市内科・小児科初期救急センターについて

平成30年度事業費歳入決算額

(単位：千円)

項目	金額
事業費	68,390
うち診療収入	24,554
うち県補助金	2,265
うち市町村負担	41,399
うち手数料	172

受診者数の状況 (前年比)

(単位：人)

	H31.4	R2.4	増減	増減率
内 科	82	37	△45	△54.9%
小児科	110	35	△75	△68.2%

法令関係

小児初期救急医療体制整備事業補助金交付要綱